

内容

2011年度の連続講演会では、東日本大震災の発生メカニズム、被害の実態、復旧・復興の課題などを様々な観点から検討し、巨大災害と地域社会の対応を検証した。

2012年度前期の連続講演会では、前年度の問題意識、新たに明らかになった首都直下地震の切迫性、東海・東南海・南海地震の3連動地震(西日本大震災)が発生する可能性などを念頭に置きながら議論を進めた。具体的には、大規模災害の発生と減災をメインテーマに、ジャーナリストの目で見えた大震災、自

衛隊の災害派遣、企業の被災地支援、津波災害と津波シミュレーション、地震火災などへの対応とこれからの防災まちづくりを検証してきた。

2012年度後期に実施する連続講演会 Part 2では、福島第一原発事故により深刻な課題となっている全国の原発立地を考えていくとともに、災害予測、地域防災まちづくり、災害医療、女性のための防災、仮設住宅やガレキ処理などに関する課題を検証する。

定員 80名 ※先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。

会場 横浜キャンパス 23号館3階 23-310

申込期間 9/1(土)~9/21(金)
 ※申込期間後も定員に余裕がある場合は、受け付けます。
 ※定員に満たない場合は、開講できないことがあります。
 ※お申し込み・お問い合わせはp.58をご覧ください。

受講料等

無料

※1回のみ受講も可能です。その場合は、お申し込みの際に受講希望日をお知らせください。

講座日程 ※講師の緊急な都合などにより日程等を変更する場合があります。

[開講時間] 14:00~16:00 全7回

回	開講月日	担当講師	テーマ/概要
1	10/6(土)	入倉 孝次郎	活断層、地震動、原発の安全性(仮)
2	10/13(土)	福和 伸夫	南海トラフでの巨大地震と耐震安全性・土地利用を考える
3	10/20(土)	五十嵐 ゆかり	東日本大震災から考える女性のための防災
4	10/27(土)	宮川 弘一 岡野 敏明	東日本大震災から見た災害医療の現実と今後の課題
5	11/10(土)	濱田 政則	東日本大震災の教訓と首都直下地震への対応
6	11/17(土)	市古 太郎	地域・市民との協働による大災害時の「共助のデザイン」：事前復興まちづくり
7	11/24(土)	佐藤 孝治 被災地住民	大震災1年半後の被災地の現状と問題点・仮設住宅とガレキ処理

講師紹介

入倉 孝次郎

京都大学名誉教授
愛知工業大学地域防災研究センター客員教授

岡野 敏明

川崎市医師会副会長

福和 伸夫

名古屋大学教授

濱田 政則

早稲田大学教授

五十嵐 ゆかり

聖路加看護大学助教

市古 太郎

首都大学東京准教授

宮川 弘一

川崎市医師会副会長

佐藤 孝治

神奈川大学教授